

# 第1回「テラヘルツ-バイオ研究会」開催案内

日時：2010年2月8日(月) 13:30~17:40

場所：(独)情報通信研究機構 神戸研究所未来 ICT 研究センター (〒651-2492 神戸市西区岩岡町岩岡 588-2) <http://www-karc.nict.go.jp/>

開催趣旨：研究対象あるいは産業の芽としてバイオ研究を見つめる目は、今から50年程前の半導体のそれによく似ている。半導体技術は、この50年で驚異的な発展をとげ、開発されつくした感がある。今後、我々の手に届く範囲の未開拓領域としてバイオ研究にチャレンジする事が大切であろうと思われる。これまでの研究で、テラヘルツ波を用いたいくつかの生体分子分光に関する研究成果が挙がっている。その過程で、中性子散乱を使った研究とテラヘルツ波を使った研究が関連していることが判明した。その意味で、テラヘルツおよび他の周波数を使ってバイオ研究を行っている研究者が一同に会して情報を共有する事は有意義であろうと思われる。幸い(独)情報通信研究機構・神戸研究所(NICT 神戸)では20年前に蒔いたバイオ研究の種が、今テラヘルツ波の研究同様、花開いている。NICT 神戸でのバイオ研究は主に可視域であるが、お互い情報を共有する事によって、ポジティブな発想が生まれ、我々の手で一步でもバイオ研究が進む事を期待して、この研究会を開催したいと考えている。(発起人 阪井清美、世話人 谷正彦)

## プログラム

- 13:30~13:40 開会あいさつ 阪井清美 (NICT, 福井大)
- 13:40~14:10 「テラヘルツ電磁波を用いた生体分子の研究：水素結合性分子、タンパク質、時間分解分光」  
富永圭介 (神大、分子フォトサイエンス研究センター)
- 14:10~14:40 「分子シミュレーションによるテラヘルツ領域での蛋白質ダイナミクス  
-計算による中性子散乱・テラヘルツ分光スペクトル-」  
北尾彰朗 (東大 分子細胞生物学研究所)
- 14:40~15:00 休憩
- 15:00~15:30 「中性子散乱と蛋白質動力学」片岡幹雄 (奈良先端大 物質創成科学研究科)
- 15:30~16:00 「新規赤外分光法を用いたプロトン輸送タンパク質の研究 -生理条件下での測定を目指して-」 中島 聡 (兵庫県立大(院) 生命理学研究科)
- 16:00~16:15 「テラヘルツ-バイオ：最近の話題から」  
廣本宣久 (静岡大学 創造科学技術大学院)
- 16:15~16:30 休憩
- 16:30~17:00 「ヘム蛋白質の多周波強磁場 EPR」  
堀 洋 (阪大極限量子科学研究センター)
- 17:00~17:30 「NICTにおける生体分子研究」(仮題) 榊原 斉 (NICT)
- 17:30~17:40 閉会のあいさつ

- ・ 申込方法・参加費：参加費は無料ですが，参加を希望される場合は事前にお名前，ご所属，連絡先を下記へ電子メールでご連絡ください。
- ・ 連絡先： 谷正彦(福井大) [tani@fir.u-fukui.ac.jp](mailto:tani@fir.u-fukui.ac.jp)

NICT 神戸へのアクセス

<http://www-karc.nict.go.jp/intro/access.html>



◆公共交通機関をご利用の場合

J R（山陽本線）の「西明石駅」または、一つ西の「大久保駅」で下車して下さい。  
 （「西明石駅」は、山陽新幹線も停車します。）

※ J R 新快速利用による所要時間

京都-西明石（約 1 時間 10 分）

大阪-西明石（約 40 分）

三宮-西明石（約 20 分）

J R 西明石駅（在来線・新幹線）から

・タクシーで約 15 分

J R 大久保駅（在来線）から

・バス

J R 大久保駅北口駅前ロータリー 3 番バスのりば「大久保駅前」から神姫バス「上岩岡・西神中央」方面行き（「秋田回り」以外で）「上新地」下車（所要時間約 10 分）後徒歩 10 分（